



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



弥富市見守り等活動に関する協定を締結しました

9月28日に第一生命保険株式会社名古屋西支社と弥富市見守り等活動に関する協定を締結しました。

内容としては、第一生命保険株式会社名古屋西支社の方が市内での業務中に市民の異変に気付いた際、市の担当部署へ連絡し、緊急時には、警察や消防などに通報していただきます。

見守り等活動に関する連携体制を構築することで、安心して暮らせる地域社会づくりにつながっていきます。

この見守り等活動に関する協定は、平成30年度から事業者と締結しており、今回の締結で5団体目となります。



下水道の日作品展

9月1日～28日、市役所本庁舎南側図書館棟にて、下水道の日作品展を開催しました。

これは、下水道の必要性および重要性をより多くの方に知ってもらい、下水道の接続促進の一環として行われました。

また、この期間中には、市内小・中学生にも下水道について興味を持ってもらい理解を深めることを目的に、ポスターや書道作品を募集し、全73作品を展示しました。

ちょっと一息
“防災”

防災クイズに挑戦してみませんか?

問題 地震に備えて家具の配置で気をつけることで正しいのはどれでしょうか?

①

避難の邪魔にならないように、物は床に置かないで家具の上に置く。

②

倒れても布団やベッドに当たらないように置く。

③

いざという時に運び出しやすいように玄関や廊下に置く。

答えはP17の下をご覧ください。

やとみ

歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



六門橋(六門樋門)

明治35年、立田輪中の悪水を鍋田川に排水するため中山に立田輪中人造堰樋門が造られましたが、排水機能を十分に果たせませんでした。

そこで排水先を鍋田川から筏川に変更し、明治39年、筏川に三門の樋門が完成しました。その後、明治45年に1門、昭和3年に2門が追加され「六門樋門」と呼ばれるようになりました。

六門樋門は戦前ごろまでは機能していたようですが、やがて下流との潮位差が減少し排水機能がなくなり、樋門としての役割を終えました。現在はもっぱら総合社会教育センターと駐車場を結ぶ人道橋として使われていて、水と関わりの深い地域の歴史を伝える「六門橋」として親しまれています。



六門橋

市長の部屋



秋晴れの心地よい季節となりましたが、市民の皆さまには健やかに暮らしのことに存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症は依然として収束には至ってありませんが、皆さまの徹底した感染防止対策、ワクチン接種へのご協力により少しずつではありますがこれまでの日常が戻ってきております。

そのような中、海外では2回目の接種から8か月後を目途に更なる追加免疫を得るためのブースター接種が始まりました。日本では、先行接種を行った医療従事者から行うことが検討されていますが、今後の情報につきましては市ホームページなどでお知らせしてまいります。

11月は秋から冬への移行の時期です。昼夜の寒暖差には、くれぐれもご自愛ください。

弥富市長 安藤正明